

董中学校のみなさん、新型コロナウイルスの爆発的な感染拡大が心配される中、感染拡大の防止に協力していただき、ありがとうございます。あわせて、臨時休業中の本校の対応にご理解いただいております保護者の皆様に厚くお礼申しあげます。医療の最前線で新型コロナウイルスの抑制にご尽力されている医療関係者の皆様に敬意を表するとともに深く感謝申しあげます。

新型コロナウイルス対策については、収束の見通しが不透明なために中学校卒業後の進路選択の学年でもある 3 年生をはじめ、2 年生 1 年生のみなさんの中には不安感が増す人も多いと思います。不安を少しでも取り払い、董中学校のみなさんの支援となればと思い、家庭内での学習について、お話をさせていただきます。これは、私の中学校の頃の実践も含めてのことなので、個人的見解でもあることをご理解ください。

非常事態宣言が発出されていることから、家庭での学習が学校の再開後に大きく影響します。董中学校のみなさんは「ルールを守る」という設問で肯定的意見が 95.6% と極めて高く非認知能力に優れています。「自制心」が身についています。そこで、この機会にぜひともこれから生きる力に必要な「読解力」「論理力」そして学習に不可欠な「記憶力」について、お伝えします。

まず、「読解力」の鍛え方です。学校の教科書を何度も読むことで効果が得られると思います。読んだ内容を人に説明することで文を整理する習慣ができると思います。説明しようとする内容を 200 字以内で書いてみてもいいと思います。次に「論理力」の鍛え方です。大切なことがらを記憶するためには、「読解力」の鍛え方と同じように人に話したり書いたりすることが重要です。家庭内で過ごす時間が多く、ドラマや映画を見る機会もあると思います。その時に少し意識してドラマや映画をみることで「記憶力」と「論理力」を同時に鍛えることができます。ドラマや映画を見終えた後に最も印象に深く残ったシーンや会話を 100 字程度で感想を含めて書き出すと記憶に残り、内容を思い出しやすくなります。

これが「記憶力」と「論理力」を同時に向上させる方法の 1 つです。人に説明しようとしたり、書いて残すためには、情報を整理し、自分がしっかりと理解していなければできません。したがって、人に説明するあるいは書き残すという作業は、自分の理解できていることを確認するうえでとても大切です。理解、記憶、実践が記憶にとって必要なのです。

最後に、私の中学校時代のプリントの学習方法について紹介します。私は、課題プリントは、記憶することが基本の内容については、いつも最初に解答のプリントを暗記した後、そのプリントの問題をノートや別

の紙に書いて複数回にわたり、同じプリントを学習しました。すなわち、問題を解くことなく、先に答えを見て覚え、思い出すという実践を何度も繰り返したのです。思い出すという作業が記憶を定着させます。積極的にお勧めできる学習方法とは言えないかもしれません、みなさんにご判断いただければ幸いです。

学校再開までにみんなの「健康」と「読解力」「論理力」「記憶力」の向上を願っています。ともに頑張りましょう。

大阪市立董中学校

校長 箕輪 正秀